



SDGs AICHI Expo に出展しました！

2023年10月5日（木）～7日（土）に愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)で開催された「SDGs AICHI EXPO2023」（SDGs AICHI EXPO実行委員会主催）

に出展し、人文社会学部の曾我准教授ゼミの学生によるSDGsにつながる行動を考えるワークショップ等を実施し、98名の来場者に本ワークに参加いただきました。

また、薬学部の学生による研究成果「医薬品PTPシートのリサイクル」についての紹介も実施されました。

今後もSDGsセンターではSDGsに関するイベントに積極的に参加し、SDGsに関する啓発活動に取り組んでいきます。



当日の出展の様子①
(ワークショップでは、来場者とSDGsについて考えました)



当日の出展の様子②
(薬学部学生による研究成果の紹介も併せて実施されました)

生物多様性研究センターがなごや生物多様性センターまつりに出展！

2023年10月28日(土)、「なごや生物多様性センターまつり」に本学の理学研究科附属生物多様性研究センターが出展しました。

なごびオ昆虫類部会と共同で出展され、「なごやのバタ類の遺伝的多様性」を紹介しました。

ポスターによる研究内容の紹介に加え、クイズイベント等の実施により、生物多様性研究センターの取組みを来場者に理解してもらう工夫が凝らされており大盛況でした。



当日の出展の様子①
(名古屋に生息するバタの名前を当てるクイズイベントを実施しました)



当日の出展の様子②
(ポスター展示と併せて生物多様性研究センターの取組を来場者に紹介しました)

SDGsセンターシンポジウムを開催します！

2023年12月20日(水)に、SDGsセンター主催シンポジウム「-ともに考える教育の未来-」を開催予定です。国際社会における教育に関する議論を参考にしながら、SDGsの先にある未来について改めて考える機会とします。

【シンポジウム概要】

- ・日 時：2023年12月20日(水) 17:00～19:00
- ・会 場：桜山(川澄)キャンパス さくら講堂
- ・主な内容：

①基調講演

(聖心女子大学 現代教養学部教育学科 永田 佳之 教授)

②学生によるSDGsに関する活動報告

※11月中旬より申込受付開始予定です。



聖心女子大学 現代教養学部教育学科
永田 佳之 教授

ここでは、SDGs 17ゴールについて、ゴールごとに紹介します。今回は、SDG13（気候変動に具体的な対策を）について紹介します。

Goal13.気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

SDG13に関連する本学の取り組み例（SDGs活動レポートより）

教養科目「社会学C」と「地域連携参加型学習」の合同講演会開催！



2021年11月13日（土）午後1時半から、名古屋市立大学桜山キャンパスさくら講堂で講演会を開催しました。教養科目である「社会学C」と「地域連携参加型学習」という授業の一貫で日本環境設計株式会社取締役会長、岩元美智彦氏をお招きして、ご講演いただきました。

両授業において扱っているESD（Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育）は、持続可能な社会づくりを担う人を育てる教育活動として、2005年よりユネスコを中心に普及・促進されてきました。現在では、SDGs（Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標）を達成するための教育活動のひとつとして捉えられています。SDGsに取り組みにあたり、持続可能な開発を構成する経済開発、環境保全および社会的公正の均衡はときに難しさをともない、不可能とも思われることも少なくありません。

今回お話しくださった岩元さんはこうした状況に「あそび心」をもって取り組まれてきました。映画「Back to the Future」に出てくる「ごみで走るデロリアン」からの着想で、「ごみを資源に」する技術と仕組みを開発しました。誰もに参加できる機会をつかって、生活者である一人ひとりが「ごみを資源に」する習慣を身につけること、それを文化にしていけることを試みています。

岩元さんのお話の後で、岩元さんを囲んで座談会形式で受講生からの質問をもとに、持続可能な社会づくりに関わることのワクワク感を共有する時間を持ちました。気候変動に関する諸問題によって、未来に希望を見せず、「気候不安症」をいたく若者も少なくありません。岩元さんの話からは、そうした不安を払拭するような確かなことと、あそび心をもって取り組む楽しさを感じることができました。

- 【担当教員】
- ・「社会学C」：安藤理恵（高等教育院 名古屋市教育委員会連携推進特任教授）
 - ・「地域連携参加型学習」：安藤理恵&曾我幸代（人間文化研究科准教授）

- 【出席した学生からのコメント】
- ・映画からの着想で世界を変える技術を生み出せること、その実行力に感動した。
 - ・行動することを諦めない強さを持っていて、とにかくカッコいい。自分も見習いたい。
 - ・岩元さんのことをもっと知りたくなっただけでなく、積極的に知識を増やしたい、学びたいと純粋に思った。これからの大学時代を有意義に過ごしたい。自分にも何ができるはず。
 - ・自分事にするこの大切さを実感した。「正しい」を「楽しい」にしていけば、世界が変わる。
 - ・「世界はまだ捨てたものではないのだ」と考えを改めた。希望を見いだせた。
 - ・多くの今はまだ無関心な人に、ぜひ聞いて欲しい。自分は変わったと思う。聞いてみたらみんなリサイクルしたくなるだろう。



NCUサステナビリティ・シンポジウム2021報告書刊行



NCUサステナビリティ・シンポジウム2021「防災×SDGs～いま、私たちが備えることは～」(名古屋市立大学主催、名古屋市・名古屋市教育委員会・JICA中部・名古屋市立大学SDGsセンター後援)を2021年11月3日(水)にオンライン(ZOOM使用)にて開催しました。シンポジウムでは、計8チームが防災とSDGsを掛け合わせ、不確実性の高い時代に生きる私たちにとすべきことは何かを考え、子ども・若者の視点から示し、発表しました。その報告内容および共同ワークショップの概要をまとめた報告書が完成しました。子どもたち・若者たちの声を通して、改めて防災について考える機会となりました。

なお、本シンポジウムに関する事業は名古屋市立大学特別研究奨励費(地域貢献共同研究の推進事業)の助成を受けて実施されました。

活動の概要

【参加チーム】	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科 曾我ゼミ ・名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科 権名ゼミ ・名古屋市立大学看護学部看護学科地域保健看護学ゼミ ・名古屋市立大学高等教育院CS: presentation ・オルタナティブスクール あいち権の森 ・名古屋市立北高等学校国際理解コース ・名古屋市立名東高等学校国際英語科 ・名古屋市立工業高等学校都市システム科
活動の時期	2022年1月刊行
関連URL	NCUサステナビリティ・シンポジウム2021開催
所属	人間文化研究科（人文社会学部心理教育学科）
氏名	曾我 幸代
専門分野	ESD



NCUサステナビリティ・シンポジウム報告書 (PDFファイル 6.86MB)

その他のSDG13に関する取り組みについては、以下のサイトをご確認ください。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/13/>

お問い合わせ

名古屋市立大学SDGsセンター事務局
(企画推進課内)

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1

Tel : 052-853-8806

Mail : ncu-sdgscenter@sec.nagoya-cu.ac.jp

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/sdgscenter/>

